



清流

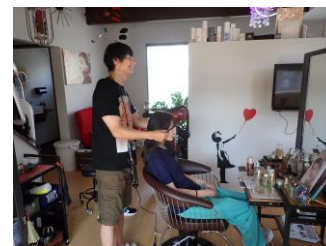
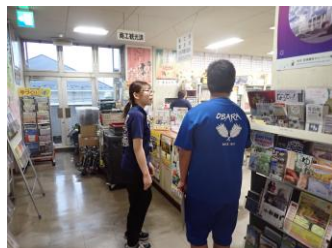
発行：白石市教育委員会生涯学習課（TEL 22-1343）

【ボランティア】
できるひとが
できるときに
できることを

職場体験学習（東中9月2～4日、小原中9月3・4日）

先日、東中学校と小原中学校の職場体験学習がそれぞれ行われました。体験場所としては、市役所、小学校、認定こども園、消防署、警察署、スーパー、美容院、建築関係など、様々な事業所に協力していただきました。初日、生徒たちは緊張した面持ちで、仕事内容を教えてくださる方の話を聞くなどしていましたが、2日目になると大分慣れた様子も見られましたが、社会の厳しさなどにも触れながら体験に取り組んでいました。

受け入れてくださった事業所の方々には、白石市の子どもたちのためにいつもご尽力いただき、ありがとうございます。生徒たちの将来に向けた職業選択等の気持ちを育む上で、とても有意義な活動の場を提供していただきました。



小原小 柿渋液づくり体験 8月27日（木）実施

8月27日（木）に、小原公民館において「柿渋液づくり」が行われました。小原小3・4年生3名が、小原地区の「柿渋を楽しむ会」の皆さんから教えてもらいながら活動しました。まず包丁を使い、青い柿の実のヘタを取って適当な大きさに切り分けます。切った柿の実を絞り機やジューサー等を使い、柿渋液と搾りかすに分けていきます。絞った柿渋液は公民館の倉庫で保管し毎日かき混ぜます。3年後、茶色になった液を使用し、石鹸や紙クラフト等を作ったりするそうです。

小原小では、7月に2年生が柿渋石鹸作りを体験するなど、地域の方々と学校が様々な場面で関わりながら、お互いを理解し、よい関係を築いていると感じました。



絞ったばかりの液（左）
と
3年後の液（右）

